



開物成務

みんなで取り組もうSDGs

開成小でもSDGsに関する学習を進めています。校舎や教室に関連資料が掲示してあり、その中には子どもたちが作成した啓発ポスター等もあります。

世界共通目標としている2030年まで、あと8年。1年生が15歳になり、6年生は20歳を迎えています。未来を生きる子どもたちのためにみんなでSDGsに取り組んでいきましょう。

うれしいニュースがあります。新聞でも紹介されましたが、今年、郡山市が開催した「こおりやまSDGsアワード」の一般部門で、その実践が優秀であると認められ、表彰を受けられたお子さんがいます。

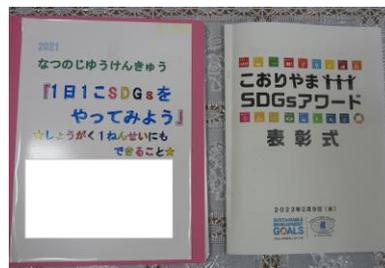
「1日1こSDGsをやってみよう」☆しょうがく1ねんせいにもできること☆のタイトルで取り組んだ実践です。

「おもちゃをりさいくる」「あさがおのみずやり」「くつそろえ」

「おにいちゃんのおさがりをつかう」「ふくをきふ」「ごみをぶんべつしよう」「ハザードマップのかくにん」「まいぼとる」「ごはんをのこさずにたべる」「こまめにでんきをけそう」

「へいわについてかんがえた」などなど。

『身近なところから』自分ができるところを考えて実践した内容で、『SDGsで大切なことを教えてくれるな』と思いました。そして、『私たちが取り組むヒントにもなるな』と感心しました。



SDGsがめざす17の目標に共通していると思うのは「みんなで、みんなのために」「自分ができるところから」です。さあ、みんなでSDGsに取り組んでいきましょう。もちろん私も取り組んでいきます。

*SDGsとは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。2015年に国連サミットにおいて全会一致で採択された、2016年から2030年までの世界共通の目標です。

貧困、教育、気候変動、産業やジェンダーなど、17のゴールとそれぞれの下により具体的な169項目のターゲットがあります。

”誰一人取り残さない (no one will be left behind)” 社会の実現のために先進国も途上国もすべての国が関わって解決していく目標です。

令和元年7月1日、自治体によるSDGsの達成に向けた優れた取り組みを行う都市として、郡山市が県内で始めて「SDGs未来都市」に選ばれています。(郡山市HPより)